

クルン・タイ銀行(KTBn)

2019/12期2Q(4-6月)は6.0%の最終増益、消費者信用市場拡大によりローンポートフォリオの成長へ
 タイ | 銀行 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG KTB:TB | REUTERS KTB.BK

- 7/19発表の2019/12期2Q(4-6月)は、純営業収益が前年同期比2.0%増の30.64億THB、純利益は同6.0%増の81.70億THBとなった。
- 貸出残高が増加したほか、資金調達コスト制御によりNIMが改善。非金利収益の落ち込みや営業費用の増加を乗り越え増益を確保。
- 上場関連会社クルンタイ・カード(KTC)の2019/12期1H(1-6月)は15.8%の増益。1-5月のカード利用額が産業全体の伸び率を上回った。消費者信用市場の拡大によりローンポートフォリオの成長が続きそう。

What is the news ?

7/19発表の2019/12期2Q(4-6月)は、純営業収益が前年同期比2.0%増の300.64億THB、税引前利益が同4.7%増の109.45億THB、純利益は同6.0%増の81.70億THBとなった。純金利収益が同4.8%増の218.05億THBと伸びた。貸出残高が増加したほか、資金調達コストの抑制により純金利マージン(NIM)が3.24%と前年同期の3.10%から14bp上昇した。一方、純手数料・サービス収入は、同3.2%減の56.50億THB。バンカシュランス商品の販売減少が響いた。その他非金利収益も同8.3%減の26.09億THBと落ち込んだ。トレーディング収益や外国為替取引などが減少した。営業費用は同10.6%増の135.58億THB。タイ銀行(BOT)の不動産抵当権の保有期間に関する規則に則り保有資産で減損損失を計上したほか、人件費も上昇した。貸倒引当金繰入額は同17.8%減の55.61億THBだった。ただ、慎重な引当金の計上方針により不良債権の引当金カバレッジ・レシオは2019/6末時点で132.83%となり2018/12末の125.74%から上昇した。

2019/12期2Q(4-6月)末の資産の状況は以下の通り。貸出残高は2018/12末比2.1%増の1兆9,896.94億THB。個人向けや民間企業向けが牽引し、SME(零細企業)向けの落ち込みを補った。貸出先種類別では、民間企業が同5.0%増の6,780.89億THB、中央政府・地方自治体が同0.3%減の1,792.87億THB、SMEが同3.4%減の3,325.48億THB、個人が同2.7%増の7,993.94億THB、その他が同1.7%増の3.76億THB。預金残高は同2.7%減の1兆9,847.76億THB。預貸率は99.25%と2018/12末時点の95.39%から上昇。

How do we view this ?

通期会社計画(銀行単体)は、NIMが前期より改善(2018/12通期実績:2.75%)、純手数料・サービス収入が前期比0.5%増(同:0.98%増)、経費率が40%台後半(同:47.63%)、貸出残高が同5-6%増(同:4.47%増)、NPL比率が4%台の前半から中盤(同:4.52%)、不良債権の引当金カバレッジ・レシオが120%(同:124.69%)。同社持分比率49.27%の上場関連会社クルンタイ・カード(KTC)が7/19に発表した2019/12期1H(1-6月)は15.8%の増益。1-5月期のカード利用額は同10.6%増と産業全体の同8.7%増を上回って伸びた。1Hのカード利用額は同10.5%増。消費者信用市場の拡大によりローンポートフォリオの成長が続きそう。

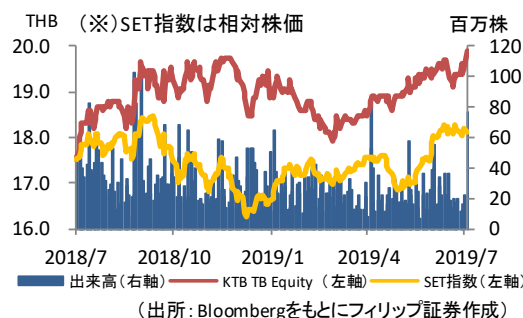
配当予想(THB) **0.81** (予想はBloomberg)
 終値(THB) **19.60** 2019/7/25

会社概要

1966年に2つの国有銀行であるMondhon Bank LimitedとAgricultural Bank Limitedの合併に伴い設立。タイ証券取引所に上場した最初の国営企業であり、1989/8/2より取引が開始された。1994年にKrung Thai Bank Pclへ社名変更し公開有限会社へ転換。1987年にはタイ銀行のアジア経済危機からの回復に向けた施策である「4月4日キャンペーン」で、Sayam Bank Limitedの資産・負債が割り当てられ資産規模が国内2位となった。国内1,120の支店と38のサービス拠点、9カ所の海外拠点を展開。商業銀行業務を行うほか、外貨両替や国際送金、貿易金融、財務管理、クレジットカードやリース、生命・損害保険、証券ブローカレッジやネットバンキングも提供する。持分比率50%超の子会社には、法律サービスのKTB Law Co.,Ltd、一般事業サービスを提供するKTB General Services and Security Co.,Ltd、ITサービスのKTB Computer Services Co., Ltd、アセットマネジメントのKrung Thai Asset Management Pcl、金融助言サービスのKTB Advisory Co., Ltd、リースのKTB Leasing Co., Ltd等がある。持分比率20-50%の関連会社には、損害保険のKrungthai Panich Insurance Pcl、リースのKrung Thai IBJ Leasing Co., Ltd、クレジットカードのKrungthai Card Pcl、SEAMICOグループとの証券合弁会社KT ZMICO Securities Co., Ltd、生命保険のKrungthai-AXA Life Insurance Pcl等がある。

企業データ(2019/7/26)

ベータ値	0.88
時価総額(百万THB)	273,931
企業価値=EV(百万THB)	-
3ヵ月平均売買代金(百万THB)	474.3



主要株主(2019/7)

1.FINANCIAL INSTITUTIONS DEV	55.07
2.STOCK EXCHANGE OF THAILAND	7.03
3.VAYUPAK FUND I	4.35

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

増淵 透吾

togo.masubuchi@phillip.co.jp

+81 3 3666 0707

笹木 和弘

+81 3 3666 6980

kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

業績推移

※参考レート 1THB=3.50円

事業年度	2016/12	2017/12	2018/12	2019/12F	2020/12F
当期利益(百万THB)	32,303	22,440	28,491	29,318	31,266
EPS(THB)	2.31	1.61	2.04	2.10	2.23
PER(倍)	8.48	12.17	9.61	9.33	8.79
BPS(THB)	19.62	20.59	21.88	23.29	24.74
PBR(倍)	1.00	0.95	0.90	0.84	0.79
配当(THB)	0.86	0.61	0.72	0.81	0.87
配当利回り(%)	4.39	3.11	3.66	4.11	4.42

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: フィリップ証券 リサーチ部 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増淵 透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。